



報道関係者各位

2019年9月24日

**「第7回木暮人国際映画祭2019」の上映作品及び審査員が決定
映画祭は11月24日（日）12時から
座談会「森と和紙のキュレーターが語る日本の未来」も同時開催**

一般社団法人木暮人倶楽部（東京都中央区、理事長：吉田就彦、以下「木暮人倶楽部」）では、この度「第7回木暮人国際映画祭2019」（以下、「映画祭2019」）を本年11月24日（日）に下記の要領で開催することとなり、その上映作品及び審査員が決定しましたのでお知らせいたします。

「映画祭2019」では、本年8月31日に応募締め切りされたエントリー作品の中から9月頭に行われた実行委員会を経て選ばれた下記14作品のノミネート作品の上映を行うこととなりました。

また、本年も昨年と同様に、実行委員会にて決定した審査員会により、当日来場した観客による投票結果を考慮した上で、各賞（グランプリ＜Grand Prix＞、木暮人賞＜Kogurebito Award＞）を選出いたします。

さらに本年は、第2部の恒例イベントとして、和紙の可能性を世界に発信している和紙キュレーター株式会社杉原商店代表取締役社長杉原吉直氏と森林活用を人材育成等のビジネス面で追求している一般社団法人森と未来代表理事の小野なぎさ氏を迎え、座談会「森と和紙のキュレーターが語る日本の未来」も同時開催致します。皆様のご来場をお待ちしております。



2018年映画祭の受賞者



杉原吉直氏



小野なぎさ氏

記

■第7回木暮人国際映画祭2019 概要

- 1、タイトル：第7回木暮人国際映画祭2019
- 2、日時：令和1年11月24日（日）、開場11：30 開演12：00 終演16：00（予定）
- 3、場所：港区立神明いきいきプラザ体育館 東京都港区浜松町1-6-7
Tel: 03-3436-2500 最寄駅；JR浜松町駅より徒歩5分
<http://shiba-ikiiki.com/shinmei/>
- 4、主催：一般社団法人木暮人倶楽部（<http://www.kogurebito.jp>）
- 5、共催：港区立神明いきいきプラザ（<http://shiba-ikiiki.com/shinmei/>）
- 6、協力：株式会社ヒットコンテンツ研究所、株式会社オフィスカレイド、NPO 法人シネメディアシステム
- 7、後援：林野庁、港区、一般社団法人日本林業経営者協会、一般社団法人日本ログハウス協会、一般社団法人ARTIZAN 日本、NPO 法人日本森林管理協議会（FSC® ジャパン）、デジタルハリウッド大学大学院
- 8、入場料：無料
- 9、公式サイト <https://www.kogurebito.jp/filmfestival2019/>

■第7回木暮人国際映画祭2019 上映作品（順不同、上映順未定）

1. なめとこ山（日本） 監督：ヤカ ハラ（アニメーション）
宮沢賢治の「なめとこ山の熊」を元にして、対立ではなく自然と寄り添って生きる考え方をコンセプトに。
2. For The Love of Christmas (Trees)（マレーシア） 監督：Ken Foong（アニメーション）
Like a forest to a tree, Christmas belongs at home for "Saggi" 木は森の一部であるように、クリスマスは家にいるのがサギーには心地いい。
3. BAHÇE / THE GARDEN（トルコ） 監督：Idil Ar Ucar（アニメーション）
豊かな森の暮らしから都会に出て行き疲れていく女、森へ帰ることで再生される物語。
4. Like and Follow（ドイツ） 監督：シュラーゲ トビアス，フォレスト ブレント（アニメーション）
スマートフォンしか見ない少年が、彼の周りの木々がどれだけ美しく面白いものかに関心する。
5. 水槽都市/Fish Tank City（日本） 監督：Gyoza543（ドキュメンタリー）
水槽の中で泳ぐ魚と都市で生きる人々の華やかさと息苦しさ。

6. 茶人の道 (中国) 監督：毛一平 (ドキュメンタリー)

祖父、父、娘の3世代が中国の茶の道を伝える。天人合一、茶は自然であり人である。

7. Song of Kami (日本) 監督：Semsettin Evgin (ドキュメンタリー)

映画祭の表彰状を越前和紙の三極局紙に選定。千五百年の紙漉きの伝統を、紙の神社の祭りと共に唄で語り継ぐ。

8. Hidden Heaven (トルコ) 監督：Çağatay Çelikbaş (ドキュメンタリー)

いい空気と薬効ハーブで有名なトルコのイダ山における生活のドキュメント。大変でも自然と共にあることの重要性を女性たちが語る。

9. 千石船を復元する～「気仙丸」から始まった技術伝承 (日本) 監督：ステイボン・K (ドキュメンタリー)

平成の世に四艘の復元北前型弁才船を一から建造した船大工棟梁「新沼留之進」、気仙大工「平山憲治」のインタビューも交え、千石船復元の技術とその意義を振り返る。

10. 祖谷を継ぐもの (西祖谷) (日本) 監督：土井鮎太 (ドキュメンタリー)

市井の民の文化が伝統として色濃く残る徳島県西祖谷。失われつつある伝統の芸や唄、食文化等山の民が育んできたものに“祖谷を継ぐもの”は再び命を吹き込んでいる。

11. くすのき (日本) 監督：西脇祐也 (ドラマ)

木は加工することで便利なものになり、暮らしを豊かにしてくれることもあれば、ただそこにあるだけで人を支えてくれることもある。

12. Memories of the Forest (タイ) 監督：Tinshine Mont (ドラマ)

おばあさんが昔森と遊んだことを懐かしむ。今の森は？

13. Kayıp/The Paradise Lost (トルコ) 監督：Abdullah Korkut (ドラマ)

自然が荒廃している世界に住む2人の兄弟。彼らに救いはあるのか？

14. My True Happiness (タイ) 監督：Yotsawat Winyarat (ドラマ)

ゴムの木の森が荒れて、金が手に入らないので自然の恵みで暮らす男。

■審査方法

審査方法は、当日会場の観客による投票結果を考慮し、審査員会により、各賞（グランプリ＜Grand Prix＞、木暮人賞＜Kogurebito Award＞）を選出。

■審査員会委員

審査員長：吉田就彦（第7回木暮人国際映画祭2019実行委員長）

審査員（五十音順）：落合俊也(建築家)、尾中謙文(認知科学者)、久里耕介(映画プロデューサー)、関橋英作(マーケッター)、筒井勝彦(映画監督)、東海林美紀(写真家)、本郷浩二(林野庁長官)

■第2部イベント

座談会「森と和紙のキュレーターが語る日本の未来」

登壇者（敬称略）

- ・杉原吉直：（株式会社杉原商店 代表取締役社長）
- ・小野なぎさ：（一般社団法人森と未来 代表理事）
- ・吉田就彦 司会：（一般社団法人木暮人倶楽部 理事長）

概要：1500年の歴史がある越前和紙は、今も最先端の技術と知恵で進化を続けている。昔ながらの優れた技術を元にそんな和紙の可能性を世界に発信している和紙キュレーター杉原吉直。都会人に多いストレスの軽減や健康増進のために有効であると医学的にも検証されてきた森林浴などの森林活用を、人材育成等のビジネス面でも追求している小野なぎさ。共に自然を活かしユニークな方法で、世界に日本の素晴らしいヒト・モノ・コトを広げようとしている。当日は、お二方と森や自然と共に生きるこれからの日本や地方の可能性を考えていく。

■タイムスケジュール（予定）※進行の状況で時間が前後することがあります。

11時30分 開場

12時 開演

12時～14時30分 第1部 エントリー作品の上映とティーチイン

14時45分～15時45分 第2部 座談会「森と和紙のキュレーターが語る日本の未来」

15時45分～16時 第3部 第7回木暮人国際映画祭 2019 各賞発表及び表彰式

■木暮人国際映画祭について

一般社団法人木暮人倶楽部が主催する「木暮人国際映画祭」は、森林や木をテーマにした映画や映像を広く社会に広めることで、主に都会に住む一般人に森林や木をもっと身近に感じてもらうことを目的として、2013年から森林や木に特化したテーマの作品を、プロやアマチュアを問わず世界から募集して上映する形式で開始し、2019年も同様に開催、第7回目を数える。

広い意味では、映像を通じて、自然共生型社会を目指し、自然と人間の共生や共存意識を社会にメッセージし、日本の木に関わる産業や木の文化の発展にも寄与することを目指している。

募集映像ジャンルは、ドキュメンタリーやドラマなどの実写やアニメ、CG、ミュージックビデオ、CM等で、映画祭の趣旨に合い、募集テーマに合致するものであれば、どんな映像でもエントリーが可能。2018年度からは作品の長さ制限をなくした。

森林や木の有効活用が、森林の保全・管理・経営に結びつくという意識啓発並びに、風土や環境に根ざしたさまざまな映像作品が世界から集まることで、わが国の木の文化を共有し、わが国と海外、特にアジアとの文化交流にも貢献したい考えで実施中。

URL : <http://www.kogurebito.jp>

【報道関係者向けお問い合わせ先】

一般社団法人木暮人倶楽部

住所 : 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-4-12 銀座メディカルビル 9 階

担当 : 吉田

Mail : infom@kogurebito.jp

TEL ; 03-6274-6575

FAX ; 03-6274-6422

以上